

令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

1 施策No.	5-3-1		
2 地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち		
3 政策	ごみ減量・清掃事業の推進		
4 施策	3Rの推進【重点】		
5 評価担当部	環境清掃部		
6 施策関連課	ごみ減量推進課		
7 評価者	環境清掃部長 高桑 光浩		

8 施策の目標	環境負荷の低減のために、リデュースとリユースによるごみが排出される前の段階での、より一層のごみの減量や、質の高いサイクルを推進します。						
	ごみの発生抑制、使わなくなったものの再使用、ごみと資源の分別徹底について、より一層の普及啓発を行います。						
9 施策の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・例年、区民の分別排出への協力や事業者によるごみの発生抑制などにより、区民一人1日当たりのごみ量は、一般廃棄物処理基本計画で定める目標値を達成している状況であったが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により目標値を下回った。 ・清掃工場の処理能力や最終処分場の残存容量の面から、また、環境負荷低減のためにも更なるごみの減量が必要であり、一人ひとりがごみと資源の分別徹底やリサイクルなどを通して、さらにごみの減量を意識し、行動することが課題である。 						
10 施策の実現に影響を及ぼす環境の変化(法改正、社会状況等)	<ul style="list-style-type: none"> ・循環型社会形成推進基本法に基づく「第四次循環型社会形成推進基本計画」が平成30(2018)年6月に閣議決定 ・「食品ロスの削減の推進に関する法律」が令和元年に施行 ・「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が令和3年6月に可決・成立 ・東京都は「ゼロエミッション東京戦略」を令和元(2019)年12月27日に公表 						
11 今年度の施策の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・プラスチック分別収集導入の検討を行う。 ・ごみと資源の分別や出し方、資源の有効活用について、パンフレットの全戸配布やホームページでの発信など、多角的で効果的な情報提供を行う。 ・普及啓発講座の対象拡大や食品ロスや廃プラ問題といった社会情勢を踏まえた内容を取り入れる等、質的充実にも力を入れる。 						
12 投入コストの推移	費目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	事業費合計(千円)	665,504	637,438	714,346	705,762	745,008	
	うち一般財源分(千円)	554,660	511,397	587,241	601,332	658,990	
13 施策の達成度を測る指標の推移	指標(1)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	「ごみを減らす努力やリサイクル活動が活発に行われている」と回答する区民の割合【%】	目標値	38%	38.5%	39%	39.5%	40%
		実績値	29%	34%	32%	30%	30%
		達成率	76.1%	87.8%	82.1%	75.9%	73.8%
		達成状況	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成
	指標重要度の割合(%)	70	指標設定理由 ごみの減量についての区民の理解と、行動の状況が把握できる指標であるため。				
	指標(2)	補助指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	資源回収量【トン】	目標値	18,054	18,455	18,858	19,046	19,130
		実績値	14,864	14,090	14,802	14,859	15,516
		達成率	82.3%	76.3%	78.5%	78.0%	81.1%
達成状況		B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	B:相当程度達成	
指標重要度の割合(%)	30	指標設定理由 ごみの減量についての区民の理解と、行動の状況が把握できる指標であるため。					
14 施策達成状況	令和2年度達成状況	76.0%	【達成状況分析】				
	B:相当程度達成	ごみ減量を推進するためには、定着しているリサイクルへの取り組みとともに、2R(リデュース、リユース)に対するさらなる意識啓発を今後も続けていく必要がある。					
		【指標重要度の割合の設定理由】					
		ごみの減量とリサイクルの重要性について区民の理解と行動の状況が把握できる指標として設定している。					
15 施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	ごみの減量には、一人ひとりの意識と行動が必要であるため、3Rの推進・啓発は欠かせない。より一層効果的な啓発方法を常に模索しながら進めていく必要がある。						

令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

16 施策貢献度の考え方 (設定の根拠・理由)	3R推進のための意識啓発や効果的な情報提供、集団回収の自発的な活動への支援等、それぞれの事業でごみの減量を推進しているため、序列をつけるのは相応しくないが、区民一人ひとりが行動した結果が、資源回収量となって反映される。そのため、8品目12分別を週2回実施し、回収量の大半を占める資源回収事業及び根幹となる3R推進啓発事業の貢献度を高く設定した。
17 来年度の方針 (課題解決策や改善策、 成果向上策について)	新しい生活様式を見えつつ、食品ロスやプラスチックごみ等の削減に向けたリデュース・リユースの取り組みを強化し、区民・事業者への意識啓発と行動変容を図っていく。
18 新規・拡充事業の 効果や必要性	SNSの普及、イベントの自粛等に伴い、新たな方法での啓発が求められており、スマートフォンアプリの導入やSNSの活用など、多様な情報媒体による情報発信が必要である。 質の高い先進的なリサイクルを推進するために、区民にとって分かりやすく、出しやすい分別方法・排出方法に配慮することが必要である。そのために、便利なスマートフォンアプリの導入や、多言語化された冊子や案内を改訂する必要がある。 環境・コスト・作業面で効率的に資源回収を行うため、ペットボトル回収をコンテナから自立式スタンドネットに変更する必要がある。

19 施策を構成する計画事業								
事業整理番号	事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
0603-01	3R推進啓発事業	事業費合計(千円)	9,934	10,033	8,978	9,026	6,127	
		うち一般財源分(千円)	9,934	10,033	8,978	9,026	6,127	
		現状評価	A:良好	B:普通				
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★★	★★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:改善・継続	A:改善・継続	A:改善・継続
0603-02	集団回収事業	事業費合計(千円)	25,678	22,902	19,800	18,223	16,272	
		うち一般財源分(千円)	25,678	22,902	19,800	18,223	16,272	
		現状評価	A:良好	A:良好				
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:改善・継続	B:改善・見直し	B:改善・見直し
0603-05	資源回収事業	事業費合計(千円)	542,347	555,080	532,461	526,484	540,971	
		うち一般財源分(千円)	431,503	429,039	410,030	425,601	457,660	
		現状評価						
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:改善・継続	A:現状維持	S:拡充
0603-06	不燃ごみの資源化事業	事業費合計(千円)			100,410	104,406	117,964	
		うち一般財源分(千円)			95,736	100,859	115,257	
		現状評価						
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度			★★★	★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性				A:改善・継続	A:現状維持
0603-09	食品ロス削減推進事業	事業費合計(千円)				3,073	3,841	
		うち一般財源分(千円)				3,073	3,841	
		現状評価						
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度				★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性					S:拡充
20 施策を構成する一般事業								
事業整理番号	事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
0603-03	リサイクルセンター運営	事業費合計(千円)	74,955	11,388	10,534	7,186	7,009	
		うち一般財源分(千円)	74,955	11,388	10,534	7,186	7,009	
		現状評価						
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性					
0603-04	拠点回収事業	事業費合計(千円)	12,590	12,886	10,855	8,435	9,089	
		うち一般財源分(千円)	12,590	12,886	10,855	8,435	9,089	
		現状評価						
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度		★★	★★	★★	★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性					
0603-07	区施設資源・ごみ回収事業	事業費合計(千円)		14,983	18,794	18,961	33,730	
		うち一般財源分(千円)		14,983	18,794	18,961	33,730	
		現状評価						
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度				★	★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性					
0603-08	資源持ち去り防止対策事業	事業費合計(千円)		10,166	12,514	9,968	10,005	
		うち一般財源分(千円)		10,166	12,514	9,968	10,005	
		現状評価						
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度				★	★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性					

令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

1 施策No.	5-3-2		
2 地域づくりの方向	みどりのネットワークを形成する環境のまち		
3 政策	ごみ減量・清掃事業の推進		
4 施策	安定的で適正なごみ処理の推進		
5 評価担当部	環境清掃部		
6 施策関連課	ごみ減量推進課	豊島清掃事務所	
7 評価者	環境清掃部長		

8 施策の目標	区民・事業者・区が適切な役割分担のもと一体となって、ごみの減量を推進します。						
	最終処分場の延命化や環境負荷の低減に向けて、安定的で適正なごみ処理を効率的に推進します。						
9 施策の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・区民一人1日当たりのごみ量は、区民への分別ルールや排出マナーの遵守の働きかけにより、豊島区一般廃棄物処理基本計画で定める目標値を令和元年度までは達成してきたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大によるテレワークの普及や外出自粛等により家庭で過ごす時間が増えたため、目標値を下回る結果となった。 ・ごみ処理を安定かつ効率的に行うためには、区民・事業者・区がそれぞれの役割と責任に応じて、ごみの発生抑制と適正分別・適正排出を徹底、不法投棄や不適正な運搬・処理の防止、処理困難廃棄物や廃棄物に含まれる有害物質への対策など、ごみ処理のより一層の適正化を推進していく必要がある。 						
10 施策の実現に影響を及ぼす環境の変化(法改正、社会状況等)	<ul style="list-style-type: none"> ・循環型社会形成推進基本法に基づく「第四次循環型社会形成推進基本計画」が平成30(2018)年6月に閣議決定 ・「食品ロスの削減の推進に関する法律」が令和元年に施行 ・「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が令和3年6月に可決・成立 ・東京都は「ゼロエミッション東京戦略」を令和元(2019)年12月27日に公表 						
11 今年度の施策の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・国の新たな法制度の動きやSDG.s未来都市の選定を見据えた、プラスチック分別収集導入の検討を行う。 ・排出者一人ひとりが任を持って適正にごみ処理を行えるよう、区民に対する啓発活動や排出指導、巡回/パトロールを強化する。 ・「事業系ごみ自己処理責任の原則」に基づき、大量排出、不適正排出をする事業者への指導、啓発により民間収集への移行を促進する。 						
12 投入コストの推移	費 目		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	事業費合計(千円)		2,783,750	2,775,783	2,903,557	2,905,155	3,044,041
	うち一般財源分(千円)		2,453,716	2,434,674	2,558,751	2,559,314	2,701,018
13 施策の達成度を測る指標の推移	指標(1)	基本計画指標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	区民一人1日あたりのごみ量(可燃・不燃・粗大ごみ)[g]	目標値	564	552	540	528	516
		実績値	543	541	523	526	541
		達成率	103.7%	102.0%	103.1%	100.4%	95.2%
		達成状況	A:達成	A:達成	A:達成	A:達成	B:相当程度達成
指標重要度の割合(%)	100	指標設定理由 区民・事業者・区が適切な役割分担に基づき、ごみの適正な処理を進めていることを示す指標であるため					
14 施策達成状況	令和2年度達成状況	95.2%	【達成状況分析】				
	B:相当程度達成	<ul style="list-style-type: none"> ・区民一人1日当たりのごみ量は、池袋駅周辺繁華街地域でのごみ収集の見直しと資源回収の開始による区民のごみ排出意識の変化や資源回収量の増加、事業系ごみの民間収集移行に加えて、不燃ごみの資源化事業を開始(不燃ごみの約90%を資源化)したことにより、令和元年度までは豊島区一般廃棄物処理基本計画で定める目標値を達成していた。 ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により目標値を下回る結果となった。 					
		【指標重要度の割合の設定理由】					
		当該施策は、廃棄物排出指導業務等の様々な事業より構成されている。これらの事業は、それぞれ目標値はあるものの、最終的な目的はごみ量を減らすことにあるため、「区民一人1日当たりのごみ量」を施策達成のための指標として一つにまとめた。					
15 施策を構成する事務事業評価を踏まえた分析	令和2年度上半期は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりごみ量が増加したが、下半期には減少に転じているため、次年度以降は、新型コロナウイルス感染症の収束とともにごみ量の変動幅も落ち着いてくるものと推測される。一方で、ここ数年、ごみ量は横ばいで推移しており、更なるごみの減量を進めるためには、プラスチック分別収集のような新たな資源化に取り組む必要がある。						
16 施策貢献度の考え方(設定の根拠・理由)	ごみの減量や安定的で適正なごみ処理を推進していくためには、現状を分析し、時流をとらえた計画を策定するとともに、排出指導等様々な角度からのアプローチが必要である。一方で、ごみの収集はライフラインという側面があるため、成果を数値化することが必ずしも適切ではない事業もあり、これらの事業は義務的業務とした。						
17 来年度の方針(課題解決策や改善策、成果向上策について)	国の新たな法制度の動きやSDG.s未来都市の選定を受け、更なるごみの減量を図るため、先進的な取り組みとしてプラスチック分別収集の導入を決定する。 また、安定的かつ効率的なごみ処理を行うため、適正分別・適正排出を徹底、不法投棄や不適正な運搬・処理の防止、処理困難廃棄物や廃棄物に含まれる有害物質への対策など、より適正なごみの処理の推進に取り組んでいく。						

令和2年度(令和3年度実施) 施策評価表

18 新規・拡充事業の効果や必要性	<p>・更なるごみの減量を図るためには、プラスチック資源収集を導入する必要がある。導入に際し区民の理解と資源化率を高めていくためには、区民にとって分かりやすく、出しやすい分別・排出方法となるよう配慮する必要がある。そのため、多様な情報媒体を活用した効果的な情報発信を行っていく必要がある。また、プラスチック資源収集導入のためのモニター調査を実施し、ごみから資源に移行されるプラスチック量を正確に推計し、分別収集に係る経費を算出していく。</p>
-------------------	--

19 施策を構成する計画事業								
事業整理番号	事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
0604-04	廃棄物収集作業	事業費合計(千円)	1,029,118	1,031,127	1,146,976	1,132,007	1,165,451	
		うち一般財源分(千円)	844,268	836,045	950,353	933,358	990,646	
		現状評価	B:普通	B:普通				
	事業特性1	法定事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:改善・継続	S:拡充
0604-08	事業系ごみ適正処理推進事業	事業費合計(千円)	35,945	35,716	39,189	39,364	38,966	
		うち一般財源分(千円)	35,945	35,716	39,189	39,364	38,966	
		現状評価	A:良好	A:良好				
	事業特性1		施策貢献度	★★★	★★★	★★★	★★★	— (再掲分)
	事業特性2		今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:改善・継続	
0603-10	計画推進事業	事業費合計(千円)	31,852	32,169	14,290	11,058	7,314	
		うち一般財源分(千円)	31,852	32,169	14,290	11,058	7,314	
		現状評価	A:良好	A:良好				
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★★	★★★	★★★	★★★	★★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持	A:現状維持
20 施策を構成する一般事業								
事業整理番号	事業名	項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
0604-02	職員安全・衛生対策	事業費合計(千円)	27,845	27,830	23,559	22,283	34,550	
		うち一般財源分(千円)	27,845	27,830	23,559	22,283	34,550	
		現状評価	A:良好	A:良好				
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	— (再掲分)	★★	— (再掲分)	— (再掲分)
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)
0604-03	直営車両(購入・維持)経費	事業費合計(千円)	178,591	179,204	179,220	191,840	179,423	
		うち一般財源分(千円)	176,681	178,714	178,618	191,837	177,200	
		現状評価	B:普通	B:普通				
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	★★	★★	— (再掲分)	— (再掲分)
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	一般事業(評価対象外)	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)
0604-05	粗大ごみ収集	事業費合計(千円)	258,183	271,220	276,019	281,139	318,552	
		うち一般財源分(千円)	139,751	147,397	150,775	156,287	172,701	
		現状評価	B:普通	B:普通				
	事業特性1	法定事業	施策貢献度	— (再掲分)	— (再掲分)	★★★	★★★	★★★
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	A:現状維持	A:現状維持	S:拡充
0604-06	不法投棄対策事業	事業費合計(千円)	29,292	25,530	25,795	37,783	42,993	
		うち一般財源分(千円)	29,292	25,530	25,795	37,783	42,993	
		現状評価	B:普通	B:普通				
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	— (再掲分)	— (再掲分)	★★	— (再掲分)	— (再掲分)
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)
0604-07	廃棄物排出指導業務	事業費合計(千円)	37,212	37,177	35,663	35,212	43,908	
		うち一般財源分(千円)	37,212	37,177	35,663	35,212	43,908	
		現状評価	A:良好	A:良好				
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	— (再掲分)	★★★	★★★	— (再掲分)	— (再掲分)
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	一般事業(評価対象外)	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)
0604-09	池袋繁華街ガラス被害防止対策事業	事業費合計(千円)	20,472	20,359	26,925	22,458	23,391	
		うち一般財源分(千円)	20,472	20,359	26,925	22,458	23,391	
		現状評価						
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度	★★	— (再掲分)	★★	— (再掲分)	— (再掲分)
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	A:現状維持	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)
0603-11	ごみ処理券事業	事業費合計(千円)	29,400	23,871	22,915	20,960	23,153	
		うち一般財源分(千円)	6,140	3,439	2,003	48	4,238	
		現状評価						
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度					
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)
0603-12	共同処理運営事業	事業費合計(千円)	1,105,840	1,091,580	1,113,006	1,111,051	1,166,340	
		うち一般財源分(千円)	1,104,258	1,090,298	1,111,581	1,109,626	1,165,111	
		現状評価						
	事業特性1	任意的事業	施策貢献度					
	事業特性2	区単独	今後の事業の方向性	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)	一般事業(評価対象外)